

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社 ウェブ・エージェンシー KAIZUKA療育センター 五日市		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 15日		～ 2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2024年 11月 15日		～ 2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの立案	日々児童が楽しんでやりたいと思うプログラムの立案を職員間で話し合っている。	児童が常にも楽しめるように日々様々な情報を職員が吸収していく。
2	保護者への細やかな支援	保護者との面談や日々の電話対応を通して、具体的な関わりを家庭でも出来るように伝えている。	保護者のニーズを当事業所との間だけでなく、関係機関も一緒に共有できるようにしていく。
3	児童個々の特性の理解	毎年のアセスメントシートの収集やWISC検査などを活用して個々の細かい特性の理解につなげている。	日々児童の観察を怠らず継続して特性理解をおこなっていく。 変化があれば常に会議等で情報の共有、話し合いをおこなっていく。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会の活動を行えていない 地域住民との交流が少ない	コロナによりイベントの減少が多く、保護者や地域住民との関わりが減ったため。	徐々にイベントを増やして保護者間の交流、地域住民との交流を増やしていく。
2	就労先等との連携	まだ卒業生が少なく、連携先が少ない。	今後増えてくるので、しっかりと連携をおこなっていく。
3	ICT等の活用	システム準備等の事務的な部分が詰まきれていない。	現在の社会的にも少しずつ取り入れることが必要。